

悪の組織の統領 会計に目覚める

～ 悪の統領 Episode 0 ～

(資格の学校TACが発行する
仕事と資格マガジン『TACNEWS』連載)

第1話 戦闘員Z 無資格に悩む (2018年9月号より転載)

第2話 戦闘員Z 会計に目覚める (2018年10号より転載)

第3話 戦闘員Z 戦いに勝利す (2018年11号より転載)

第4話 戦闘員Z 簿記に挑む (2018年12号より転載)

第5話 戦闘員Z 躍進を遂げる (2019年1号より転載)

第6話 戦闘員Z 悪の統領に就任す (2019年2号より転載)

※タイトルをクリックすると当該ページに移動します

戰鬥員Z ???

戦闘員Y 最近は重火器類の「原価コスト」もバカにならないし、消耗戦ばかりじゃ勝ったとは言えんよな。今後は「収益性」を考えた都市制圧が重要だと思わないか？

戦闘員Z ゲンカ？シュウエキセイ？（…こいつ何を言ってるんだ？呪文か？）

この日の午後、リーダー戦闘員を集めての会議が行われた。議題は、オオサカCityの地区制圧である。残念ながら構成員の大半は発言しない典型的な会議であった。

上司 オオサカの制圧について、意見のある者はいないのか？
戦闘員Z、貴様はどうだ？

戦闘員Z いや…私は現場専門なもので…戦いの日まで、ひたすら戦闘員を鍛えたいと思います。（…あとは美味しいB級グルメを調べるくらいしか考えてないし）

戦闘員Y はい！

おもむろに戦闘員Yが発言を始める。

戦闘員Y 次の都市の制圧には、最低でも怪人が2体、戦闘員が100人は必要かと存じます。過去の戦績と照らし合わせた「定量分析データ」はこちらにございます。

上司 ほう。よく調べてあるな。

戦闘員Y このデータを基に、今般の都市を制圧する場合にどのくらいの見返りがあるのか、「財務分析」をしておく必要があります。

上司 うむ。それは一理あるな。ではそのコスト予想のもとで計画を立ててくれ。

戦闘員Y 御意！「決算年度ベース」で収支のバランスが取れるようにしたいと思います。

戦闘員Z ん??? 何を言っているんだ？

後日、ふたたび会議が持たれた。

戦闘員Y オオサカ制圧のシミュレーションを作成しました。オオサカCityの将来性を加味すると、怪人3体、戦闘員200人まで増員しても利益が出る計算となりました。

上司 うむ。これはなかなかよい試算だな。首領にも報告する

としよう。お前のグループには怪人1体、戦闘員100人の増員を認めることとする。おい戦闘員Z、お前のグループから回すからそのつもりでな！

戦闘員Z ええっ?!は…はい〜。（手柄はYかよ〜…トホホ）

悪の組織で飛び交う会計用語についていけず、焦りと苛立ちが隠せない戦闘員Zであった。果たして戦闘員Zは復権できるのか？



次回「戦闘員Z 会計に目覚める」お楽しみに！

著者 プロフィール



鈴鹿大学 准教授 **高見 啓一**

日商簿記1級、販売士検定1級、税理士、中小企業診断士など数多くの資格に合格。
日本商工会議所のネット小説「悪の組織の原価計算」の作者でもある。

悪の組織の統領 会計に目覚める

～悪の統領 Episode 0～

「悪の組織の統領 会計に目覚める ～悪の統領 Episode 0 (ゼロ)～」は、悪の秘密結社「Z A I M」の統領が、まだサラリーマン「戦闘員Z」だった頃、会計の重要性に目覚めていく物語です。



第2話 戦闘員Z 会計に目覚める

<あらすじ>

のちに悪の組織の統領となる「戦闘員Z」は、組織で飛び交う会計用語についていけず、焦りと苛立ちの日々を過ごすのであった。

あれから数年後…。

戦闘員a 元・公認会計士のエリート戦闘員、Yさんが組織を辞めて独立したらしいな。

戦闘員b 経営者が変わって、業績も落ちてきたとかってウワサも聞くからな…。

戦闘員c おいおい…ウチの組織大丈夫なのかよ。倒産したりしないよな？

戦闘員Z 貴様ら！うろたえるな！悪の組織はそう簡単には倒産はせん…はずだ…

強がりつつも一抹の不安を感じる戦闘員Zはその夜、(元)戦闘員Yとガード下の焼きとん屋のカウンターで飲んでいた。

戦闘員Z 率直に聞きたい。ウチの組織はヤバいのか？

戦闘員Y ああ、放漫経営もいいところだ！特に安全性が低すぎるのが決定打だよな。流動比率も自己資本比率も…。

戦闘員Z リュウドウ？ジコシホン？

戦闘員Y 論より証拠。ほら見てみるよ。

戦闘員Yはタブレットに入れてある組織の決算データを見せるのであった。

戦闘員Z …ゴチャゴチャしてて何が書いてあるのか余計にわからん！

戦闘員Y 貸借対照表は細かいところは読まなくていい。資産・負債・純資産の3ブロックに分けてチェックしてごらん。

説明しよう！貸借対照表(英語表記はBalance Sheet<

略>B/S)とは、資金の調達源泉とその運用形態を対照表示した計算書である。貸借対照表の右側には資金の調達源泉である「負債(他人資本)」と「純資産(自己資本)」が、左側にはその資金の運用形態である「資産」が示されている。

悪の組織 B/S

資産	負債
現金××	85
兵器××	
...	
100	純資産15

いよいよ…自己資本…少なすぎ!!

えん?! 借金持ちじゃん。Zの会計は?

戦闘員Z あー、「資産」を見ればウチの保有財産の内訳が分かるのか…。ふむふむウチの財産100億ほどあるんだな。なんかけっこう良さそうに見えるけど。

戦闘員Y そこで負債や純資産を絡めた「安全性」の分析が必要なんだ。まずは基本の「自己資本比率」からだ。

説明しよう！自己資本比率とは、「自己資本／負債純資産合計×100(%)」で計算され、資金源泉全体に占める自己資本(純資産)の割合を示す経営指標である。この数値が大きいくほど、返済を要しない資金調達ができていることになり、長期的に財政状態が安定していると判断できる。

戦闘員Z なるほど。この数値が高い方が借金が少ないってことか。ウチの組織は…？

戦闘員Y 残念ながら20%を切ってしまっている。業種にもよるから一概には言えないが、過去と比べても負債が一気に増えたのは間違いない。おそらく使えない新兵器のために多額の借金をしたんだろうな。

戦闘員Z ってことは倒産するのか？ウチは。

戦闘員Y 借金の正体が長期借入であれば、すぐにどうということはないが、問題は短期の安全性…「流動比率」だ。資産や負債のうち、短期的なものは「流動」に振り分けられるんだけど、この「流動資産」と「流動負債」のバランスが重要なんだ。

説明しよう！流動比率とは、「流動資産／流動負債×100(%)」で計算され、短期的な決済手段である流動資産と短期的な債務である流動負債とのバランスを見る指標である。この数値が100%を上回っていれば、流動負債の支払いに充てられる流動資産が流動負債を上回っていることを示す。

戦闘員Y 流動比率も50%を下回っているのが現状だ。

戦闘員Z つまり…返済期限の迫っている借金を返せない可能性があるってことか！

戦闘員Y まあ、ここの焼きとんは安くて、土業の仲間にも評判だから、失業しても安心して食べに来るといい(笑)すみませーんシロタレ2本！

戦闘員Z じょ…冗談はやめてくれ！まさかな…。

数日後。入社した戦闘員Zたちであったが、会社の外は建物内に入れない戦闘員たちでごった返していた。張り紙を見つめる従業員たち。

戦闘員a 「当組織はX月XX日をもって営業を停止いたしました」

戦闘員b 「今後は下記の代理人弁護士が一切の処理をいたします…」

戦闘員c おいおいおい…マジかよ。

戦闘員Z ほ…本当に倒産しちゃった…。



Zの勤務する組織は倒産した。会計・決算書の重要性を痛感した戦闘員Z。次なる組織では活躍できるのか？ 次回は…転職編！

次回「戦闘員Z 戦いに勝利す」お楽しみに！

著者 プロフィール



鈴鹿大学 准教授 **高見 啓一**

日商簿記1級、販売士検定1級、税理士、中小企業診断士など数多くの資格に合格。
日本商工会議所のネット小説「悪の組織の原価計算」の作者でもある。

悪の組織の統領

会計に目覚める

～悪の統領 Episode 0～

「悪の組織の統領 会計に目覚める ～悪の統領 Episode 0(ゼロ)～」は、悪の秘密結社「Z A I M」の統領が、まだサラリーマン「戦闘員Z」だった頃、会計の重要性に目覚めていく物語です。



第3話 戦闘員Z 戦いに勝利す

<あらすじ>

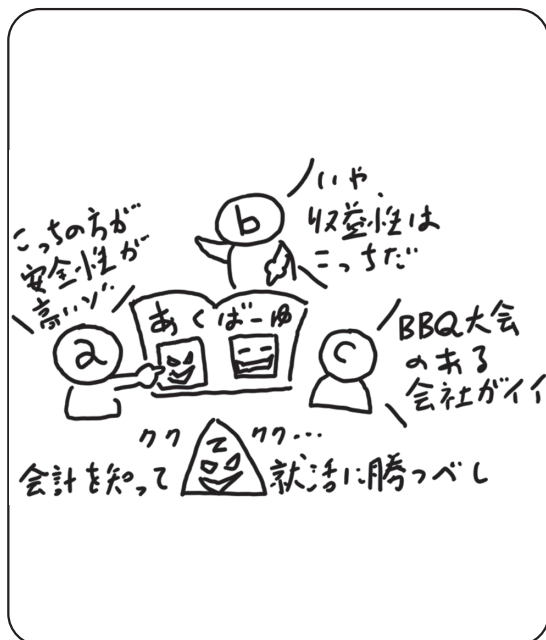
のちに悪の組織の統領となる「戦闘員Z」は、勤務先組織の倒産に直面し、新たな組織への転職を試みるのであった！

戦闘員a 転職情報誌を買ってきました！

戦闘員b 転職サイトに登録しました！

戦闘員c 怪しげなスカウトマンの話を聞いてきました！

行くアテのない部下(戦闘員a・b・c)は、戦闘員Zの転職活動に随行するのであった。



戦闘員Z …それもいいが、もう倒産はコリゴリだからな。こんどこそ会社選びの時に財務分析を使って、安全性の高い転職先を選ぼうじゃないか。

戦闘員a それは理にかなっていますね。しかし、外部の人間が決算書の情報なんて、見られるんですか？

戦闘員Z 会計士に転職した戦闘員Yの情報によると、それなりに大きな組織であれば、株主や投資家などを保護するために、法律に基づいて決算書が公開されているらしい。

説明しよう！企業の状況を知ろうとするステークホルダー(利害関係者)に財務情報等の公開・開示をすることを「ディスクロージャー」といい、会計の重要な機能となっている。会社法や金融商品取引法といった法律によって義務付けられている。

戦闘員c 悪の組織が「法律に基づいた情報公開」ってなんか矛盾してないか？笑

なにはともあれ、戦闘員Zらの転職活動は順調に進み、数か月後、晴れて新たな組織の戦闘員となるのであった。

戦闘員b いや～、これで一安心っすね。実はフィアンセに婚約解消される寸前でした。

戦闘員c お前、結婚しても尻に敷かれそうな予感がするな。

戦闘員Z いや、安心はできん。中途採用組はそれなりに「即戦力」になれんとすぐに干される。引き続き組織内部でも財務分析をしたいと思う。

戦闘員a はい。ここ数年の戦績データをもらってきました。

戦闘員Z お前は気が利くな。どれどれ…うむ。やはり都市を攻めるときに費用(コスト)をかけすぎているようだ。

戦闘員b 前の組織はそれなりに武闘派が揃っていましたからね。都市制圧のコストはもっと安かったかもしれないっす。

戦闘員Z 収益性分析を試みよう。売上高利益率だ。

説明しよう!「収益性分析」とは企業の「もうける力」を見る分析方法である。資本利益率が出発点となるが、狭義には売上高を分母に置き、利益の割合を見る「売上高利益率」を算出する(計算式…利益/売上高×100(%))。

戦闘員Z 制圧都市1都市あたりの収益を分母において、そこから費用を引いた悪の営業利益を分子に乗せれば、「悪の営業利益率」の出来上がりだ。この率を10%まで上げていくため、戦闘のコストカットを図るぞ。

戦闘員c え、コストをバンバンかけた重火器で楽しようと思ってただけだ…。

戦闘員Z 却下!お前の武器は手づくりの竹ヤリにしよう。まずは裏山で竹を伐採してこい!

戦闘員c ひでえ!

数か月後

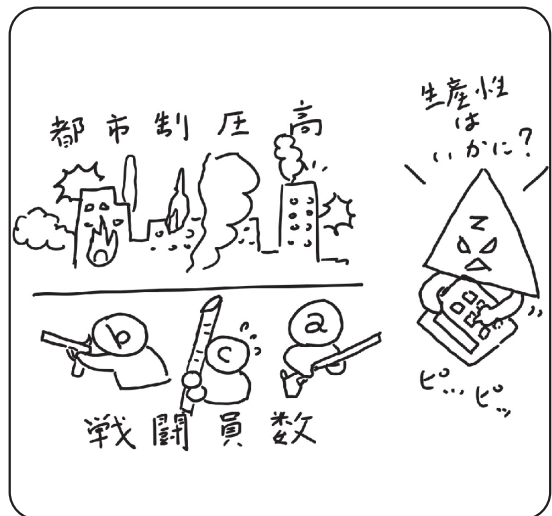
戦闘員b コストを意識した俺たちの戦いぶりが、組織内でも評価されてるみたいっす。

戦闘員c 竹ヤリでヒーローらと戦わされるオレたちは、毎週体がボロボロだけどな…。

戦闘員Z いや、コストは下がったが、この組織は戦闘員の数に比べて制圧都市の数が少なすぎる。戦闘員の「生産性」にメスを入れた分析もしなければ。

戦闘員a これですか?「従業員一人当たり売上高」という指標があるようです。

説明しよう!「生産性」とは、ヒトやモノの投入量に対する生産量の割合を指し、その代表例である「従業員一人当たり売上高」とは「売上高/従業員数(円)」で計算され、この数値が高いほど労働効率がよいということを意味する。他にも分母を労働時間(マン・アワー)で計算することもある。



戦闘員Z うむ。以前いた組織と比べると、今の組織は「戦闘員1人あたり都市制圧高」が安すぎる。この数値が業界平均値まで高まるまで、戦闘員のボーナス停止を上提案するでしょう。

戦闘員abc 鬼〜!!!

上司の評価(と部下の恨み?)が高まり、次第に「悪の統領」への能力が開花していく戦闘員Z。会計の知識の必要性を日々実感するのであった。

次回「戦闘員Z 簿記に挑む」お楽しみに!

著者 プロフィール



鈴鹿大学 准教授 **高見 啓一**

日商簿記1級、販売士検定1級、税理士、中小企業診断士など数多くの資格に合格。
日本商工会議所のネット小説「悪の組織の原価計算」の作者でもある。

悪の組織の統領 会計に目覚める ～悪の統領 Episode 0～

「悪の組織の統領 会計に目覚める ～悪の統領 Episode 0 (ゼロ)～」は、悪の秘密結社「Z A I M」の統領が、まだサラリーマン「戦闘員Z」だった頃、会計の重要性に目覚めていく物語です。



第4話 戦闘員Z 簿記に挑む

<あらすじ>

新たな組織にて戦績を上げる戦闘員Z(のちの悪の統領)は、簿記・会計の重要性を日々実感するのであった。

戦闘員Z 私も簿記検定を受験することにした!

戦闘員b 唐突っすね(笑)簿記って難しそう…。

戦闘員c 転職がうまくいったんだし、別に資格まで取らなくてもいいんじゃない?

戦闘員a 私も昔チャレンジしたことがあります、挫折しました…。

戦闘員Z 長い人生、また転職せざるを得ない場面もあるだろうし、自らの能力はなんらかの「形」で示さねばならぬ。その意味でも簿記には密かに憧れていたのだ。

いまさらながら説明しよう。簿記とは、日々の経営活動を記録・計算・整理して、決算書を作成し、経営成績と財政状態を明らかにする技能である。日商簿記は年間で約60万人が受験する社会的に高い信頼と評価を得ている公的資格である。

大手資格受験校の基本テキストを購入し、独学で勉強に励む戦闘員Zであったが…

戦闘員Z …分かん…特にこの仕訳というのが…

戦闘員a 苦戦しておられますね。

戦闘員b 「現金」は借方、「売上」は貸方…???

戦闘員c どちらも同じ意味じゃねえのか?

戦闘員Z 決算整理…ますます分かん…ヤツに相談するしかないな…

困ったときの「焼きとん屋人脈」である。公認会計士「元・戦闘員Y」に、ホッピーをおごりつつ教を乞う戦闘員Zであった。

戦闘員Y あーね。「独学あるある」だな。俺の場合は最

初から会計士を目指していたから、資格の学校に通ってたけど。独学でやってるとつまずくんだよね。

戦闘員Z 決算書は読みこなしたいのだが、仕訳の作法が難しくてな。

戦闘員Y じゃあ、「読む方」の資格から挑戦してみたらどうだい?

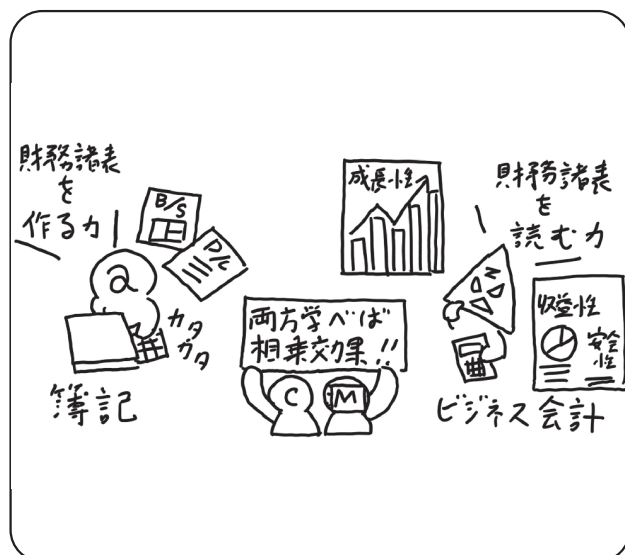
戦闘員Z そんな資格があるのか?

(作者より)ここから若干CMっぽくなるが、読者の諸君ついてきてくれたまえ。

戦闘員Y そんな君にピッタリの公的資格。その名も「ビジネス会計検定」。

戦闘員Z なんだそれは?

戦闘員Y 「あらゆるビジネスパーソンの仕事に活きる」が売りの、大阪商工会議所の資格だ。簿記が財務諸表を「作る」資格だとすると、ビジネス会計は会社の経営成績や財政状態を分析するための、財務諸表を「読む」資格といえる。



ここでスッと3級テキストを出す戦闘員Y。「準備がよすぎるだろ!」とつつこみたい気持ちを押さえ、パラパラと読む戦闘員Zであった。

戦闘員Z なるほど…使えるな!前に教えてもらった「収益性」や「安全性」の指標が体系的に学習できるのか。都市制圧のシミュレーションに役立ちそうだ。

戦闘員Y 簿記の仕訳に出てくる勘定科目も、何が収益で、何が資産で…とか、自然と理解できるはずだ。

戦闘員Z それは助かる!ところで、俺は決算整理のところが苦手なのだが…。

戦闘員Y ビジネス会計では3級から会計理論を学べるから、決算仕訳を覚える前に読んでおくとい。理論・法則を知れば、簿記の面白さが実感できるはずさ。すみませ〜んホッピー「なか」おかわり〜!

アジトに戻り、簿記と並行してビジネス会計を学ぶ戦闘員Z。みるみるうちに成果が出てきたようだ。

戦闘員b 調子良さそうっすね。

戦闘員Z うむ!財務諸表の構造が分かったら、簿記のルールがよく分かるな。最終的に出来上がるB/SやP/Lがどうなるかを意識して仕訳を書ける。

戦闘員b 苦手だった決算整理のほうはいかがですか?

戦闘員Z それも大丈夫!「費用収益対応の原則」がポイントのようだ。たとえば3月分の未払給与。たとえ振り込むのが4月だったとしても、ちゃんと年度内の費用に入れておかないと、3月分の収益は人件費0で得たことになってしまう。

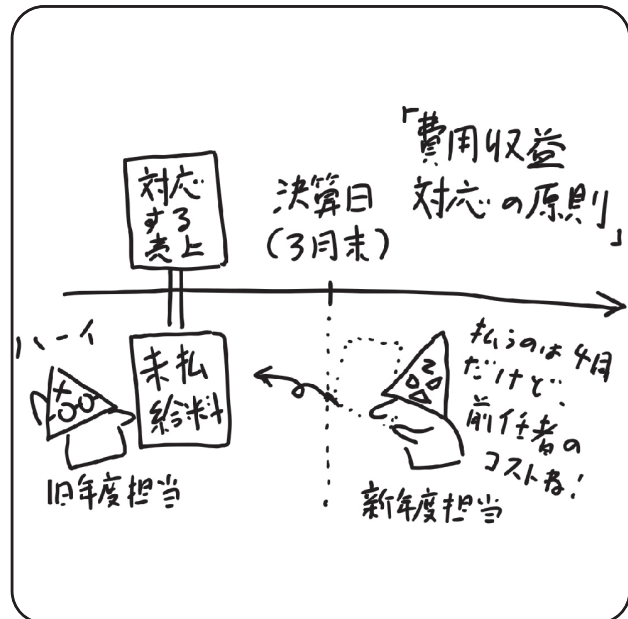
戦闘員a なるほど…ややこしい月割をする減価償却費もその理屈ってことですね。

戦闘員Z 正しい収益性分析をするためには、年度ごとのP/Lを正しく作らねばならん。我々のように1年でリー

ダーや責任者が交代させられる世界では死活問題だ!

戦闘員a そう考えるとよく分かりますね。僕もビジネス会計にチャレンジしようかな!

戦闘員c 受験申込みはお早目に!(以上!CMでしたっ!)



果たして戦闘員Zはビジネス会計と日商簿記に合格できるのか?最終話まで残り2回っ!!「受験申込期日」と「悪の統領」を見逃すなっ!

次回「戦闘員Z 躍進を遂げる」お楽しみに!

著者 プロフィール



鈴鹿大学 准教授 **高見 啓一**

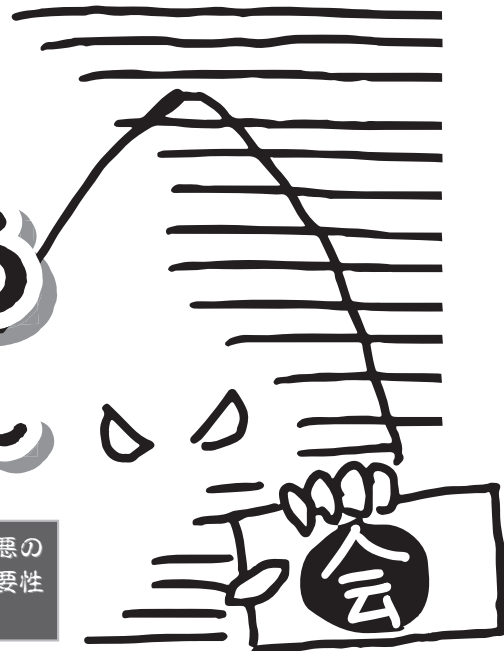
日商簿記1級、販売士検定1級、税理士、中小企業診断士など数多くの資格に合格。
日本商工会議所のネット小説「悪の組織の原価計算」の作者でもある。

悪の組織の統領

会計に目覚める

～悪の統領 Episode 0～

「悪の組織の統領 会計に目覚める ～悪の統領 Episode 0(ゼロ)～」は、悪の秘密結社「Z A I M」の統領が、まだサラリーマン「戦闘員Z」だった頃、会計の重要性に目覚めていく物語です。



第5話 戦闘員Z 躍進を遂げる

<あらすじ>

連載終了まで残り2回! 戦闘員Z(のちの悪の統領)はビジネス会計と簿記に合格できるのか?

戦闘員a どうですか…?(ざわざわ)

戦闘員b 合否のほどはいかに?(ざわ・ざわ…)

戦闘員Z ククク… 見よ!

戦闘員c おおーっ!! すげえ。

簿記3級の合格通知封筒を開けた戦闘員Z。3つ折りを開くと「合格」の2文字があった。

戦闘員a ビジネス会計3級にも合格していましたし、これでダブル合格ですね。

戦闘員b 簿記とのダブル受験は大変だったんじゃないっすか?

戦闘員c しかも仕事しながらだぜ。俺なんて仕事も半分くらいしかやってねえのに。

戦闘員Z (ジロリ) まあ、今日は嬉しい日だし大目に見てやろう。練習時の点数をしっかりと記録するようにしたのだ。ビジネス会計が良い効果をもたらしていることが分かるだろう。

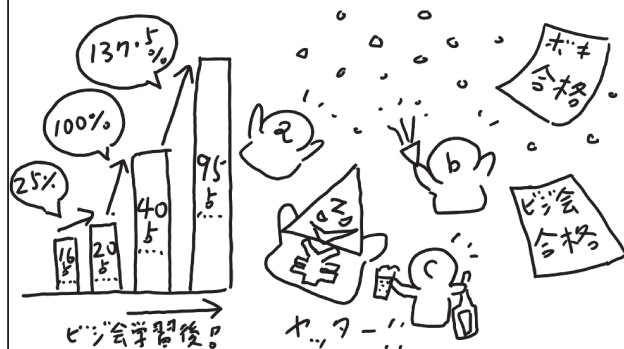
いつもよりちょっと寛大な戦闘員Zは、勉強の記録を3人に見せるのであった。そこには練習問題の得点が時系列で詳細に記録されていた。

戦闘員b たしかに、簿記の点数がゲンと伸びているのが分かりますね。

戦闘員c 成長してんじゃん笑

戦闘員Z そうそう。「成長性」や「成長率」とくれば、会計でも重要な概念だ。

得点の伸び率



説明しよう! 会計における「成長性分析」とは財務諸表の主要な項目(たとえば売上高や利益など)について期間比較を行い、推移や増減、伸びを見る方法である。「対前年度比率」(計算式… 分析対象年度の金額/分析対象年度の前年度の金額×100(%))や、「伸び率(増減率)」(計算式… 対前年度比率-100(%))などが用いられる。

戦闘員a 国とか都市の経済でも、経済成長率や人口増加率などを使いますね。

戦闘員Z どこの都市を制圧するかを選ぶときに、将来性のある町を攻めなければならんしな。おい戦闘員b! 次の制圧予定都市の候補を出せい!

戦闘員b この町なんかどうっすか? 「カジノを誘致する!」「万博を誘致する!」とかなんとかいって、経済成長率の予測から見て景気良さそうな町があります。

戦闘員c あー、タコ焼きの美味しいあの町ね。怪人みたいな看板とかモニュメントもあるし、悪の組織には居心地良さそうだな。

戦闘員Z 接待交際費の伸び率もすぐに分かるぞ。夜遊

びはほどほどにしておくようにな。



この物語はフィクションである。決して特定の都市を指してはいないことを付け加えておきたい。

戦闘員Z そして、都市を制圧したあとは、その都市を発展させなければ…。

戦闘員b え?何いってんすか。略奪の限りを尽くさないと!

戦闘員乙 制圧地域の企業の成長を支えるのも、今後の悪の組織にとっては大切な仕事になると思う。会社を儲けさせて「税金」を徴収し、身の安全を保障してやるのだ。

戦闘員c 綺麗に言ってるけど「ミカジメ」のことだろ！ 一歩間違えれば紙一重だな…。

戦闘員a 悪の組織にも会計が必要な時代が来ているんですね。

戦闘員乙 簿記とビジネス会計に受かってみて、改めてそう思う。制圧した暁には、都市内の会社に受験を強制するよう、上に進言しよう。一定数の従業員に取得させていない場合は強制収容所送りだ。「水増し」は許さん!

晴れて有資格者となり、確信が力となる戦闘員Zであった。

戦闘員C 気合い入ってんなー。まあ、俺たちには関係ねえからいいけど。

戦闘員Z ククク… 甘いな。内部の人事こそ成績の伸び率が重要だぞ…。

戦闘員b 嫌なヨカン…。

戦闘員Z 我が部署では検定合格者と無資格者の間でボーナス査定に差をつけることにする！

戦闘員abc ひえー!!時代の流れー…。

このようにして戦闘員Zは組織の中で「数字の分かる鬼軍曹」としてメキメキと頭角を現すのであった。そしてある日のこと…

謎の男 この組織、かなり制圧数が伸びているようだな…。

部下 はい。どうやら簿記とビジネス会計を取得した男が、戦闘リーダーとして組織を仕切っているようです。1年前と比較した制圧都市高の対前年度比率は200%となっております。

謎の男 つまり2倍ということか…その男について調べよ。

部下 ははっ！

敵か？味方か？突如現れた謎の男。戦闘員Zの運命は
いかに???

次回 最終話ッ!「戦闘員Z 悪の統領に就任す」
お楽しみに!

著者 プロフィール



鈴鹿大学 准教授 **高見 啓一**

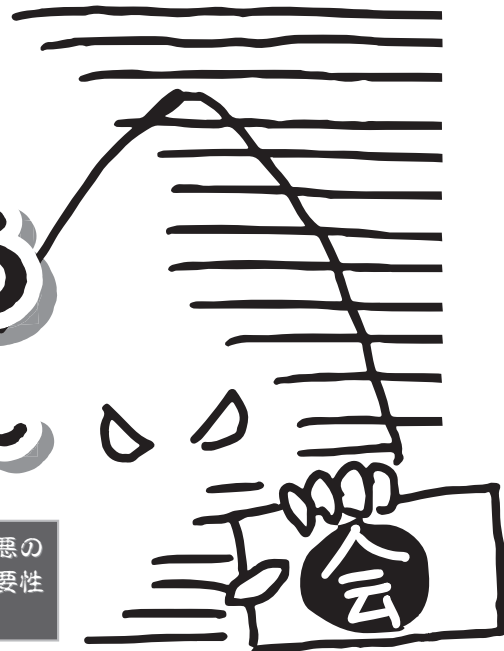
日商簿記1級、販売士検定1級、税理士、中小企業診断士など数多くの資格に合格。
日本商工会議所のネット小説「悪の組織の原価計算」の作者でもある。

悪の組織の統領

会計に目覚める

～悪の統領 Episode 0～

「悪の組織の統領 会計に目覚める ～悪の統領 Episode 0(ゼロ)～」は、悪の秘密結社「ZAIM」の統領が、まだサラリーマン「戦闘員Z」だった頃、会計の重要性に目覚めていく物語です。



第6話 戦闘員Z 悪の統領に就任す

<あらすじ>

ついに最終話!「悪の組織ZAIM」の歴史がいま始まるっ!

戦闘員Zのもとに突然の来訪者が訪れる。

(ピンポン)

戦闘員a はい!どちら様でしょうか?(こいつ何者だ?)

謎の男 ここが戦闘員Zのアジトだな…。

戦闘員b はい…そうっすけど?(やばい強そう)

謎の男 これはお土産の銘菓「怪しい恋人」です。どうぞ。

戦闘員c ご丁寧にも。いまリーダーを呼ぶから待てな。(土産おいしそう)

謎の男の発するただならぬオーラに(cを除いて)臆する戦闘員たち。そして、戦闘員Zとの緊張の対談が始まる。

謎の男 端的に言おう。我々が新たに作る悪の組織の「統領」を貴様に任せたい。会計資格を武器にした「数字の分かる経営陣」が必要なのだ。

戦闘員b すげえ!ヘッドハンティングじゃないっすか。

戦闘員Z しかし…一介の戦闘員である私には統領などまだまだ。

謎の男 貴様には大きな組織買収の仕事などもやってもらう予定だ。企業価値計算もできるビジネス会計1級まで進むがよからう。

戦闘員Z 私自身は2級くらいまで進めれば十分かなと思っているのですが…。

謎の男 …。

煮え切らない戦闘員Z。謎の男はテレビ電話をつなぐのであった。

(ピコン!)接続音とともに、プロジェクトに映し出されるドクロ姿。

謎の男 このお方こそ、100を超える悪の組織に出資をしておられる、我々のオーナー「ミスターX」様だ。

戦闘員a ものすごい威圧感だ…。

謎の男 頭が高〜い!!

戦闘員abcZ ははっ!

Mr.Xは言葉少なに語り始める。

Mr.X 貴様が戦闘員Zか…貴様が目指すべきものは国家資格だ。

戦闘員Z こ…国家資格?

Mr.X 資格取得は「終わり」ではない「始まり」なのだ。貴様の就任を待っているぞ。

(ピコン!)プロジェクト画面は消えた。

謎の男 Mr.X様の期待は相当なものだな。貴様には「税理士」や「公認会計士」をねえと言っているのだ。

戦闘員b 税理士とか会計士ってめちゃくちゃ難しい資格じゃないっすか。

説明しよう!税理士とは確定申告や税のアドバイスをを行う独占業務資格であり、公認会計士とは、大会社に義務付けられた会計監査を行う独占業務資格である。ともに簿記資格からのステップアップで目指すことができる専門職である。

戦闘員c さすがに無理だろ!

戦闘員Z いや…知識のベースは簿記やビジネス会計で学ぶ内容と同じだと聞いたことがある。

戦闘員a 会計資格ってそんなに関連しているんですね。

謎の男 これからの時代は「肩書き」が最強の兵器なのだ。税法や会計に精通した国家資格で、悪の組織を拡大させることも夢ではない。

戦闘員Z 国家資格…終わりではなく始まり…。

1話から始まった「回想シーン」はここで終わるのであった。

統領 …というわけで、ワシは悪の組織「ZAIM」の統領に君臨することとなった。

戦闘員B 会計資格をきっかけにしたサクセスストーリーっすね!

戦闘員C ちょっと待て、そのあんたがなんでこんなに落ちぶれてるんだよ?

統領 この話には続きがあつてな…。就任してみたら、ろくな戦闘員がおらんし、「名ばかり経営者」のブラック企業だし、「騙されたー」と後で気づいたわけじゃ。

戦闘員A 数字は読めても人は読めなかったってことですな。

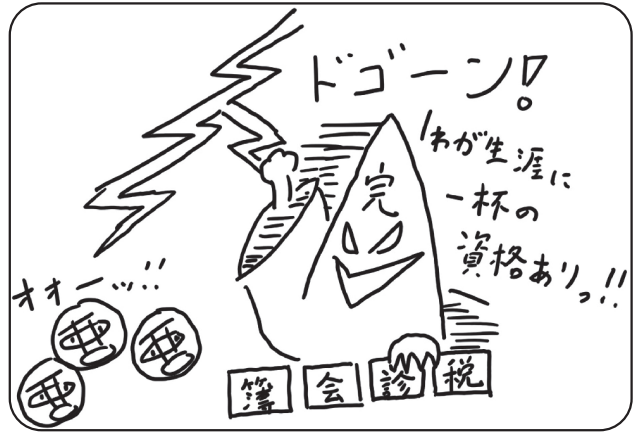
統領の話によると、そこからは組織間の裏切りと謀略の連続で、ZAIMは末端の地方組織に落ちぶれてしまったのであった。

統領 しかし、どんなに落ちぶれた組織においても「資格は一生」ということを再認識した。

戦闘員A 統領は簿記1級、ビジネス会計1級、中小企業診断士、税理士など、数々の国家資格に合格してこられたもんね。

戦闘員B ながあっても資格は本人について来るっす。

統領 おかげで、日本商工会議所でもワシの連載が載ることになり、資格啓発の講演会に出向くことも増えた。ゆえに…我が生涯に一片の悔いなしッ!(ドゴーン!!)



戦闘員C なんだか知らねえけど、強引に終わっちまったよ。

これにて連載終了! 統領の活躍は日商検定WEBサイトにて!

「商工会議所の検定試験」

連載「悪の組織の原価計算」

<https://www.kentei.ne.jp/genkakeisan>



著者 プロフィール



鈴鹿大学 准教授 高見 啓一

日商簿記1級、販売士検定1級、税理士、中小企業診断士など数多くの資格に合格。
日本商工会議所のネット小説「悪の組織の原価計算」の作者でもある。